

2024年5月24日
西日本旅客鉄道株式会社
日本貨物鉄道株式会社

岡山地区における水素輸送・供給に関する調査検討開始

西日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR西日本」）と日本貨物鉄道株式会社（以下、「JR貨物」）は、国土交通省の令和5年度鉄道技術開発費補助金（鉄道脱炭素施設等実装調査）の交付を受け、岡山地区におけるメチルシクロヘキサン（MCH）※による水素輸送・供給に関する調査検討を実施することとなりましたのでお知らせします。

※水素ガスの500分の1の容積で常温常圧の液体。貯蔵や輸送等、取り扱いが容易なことが特徴

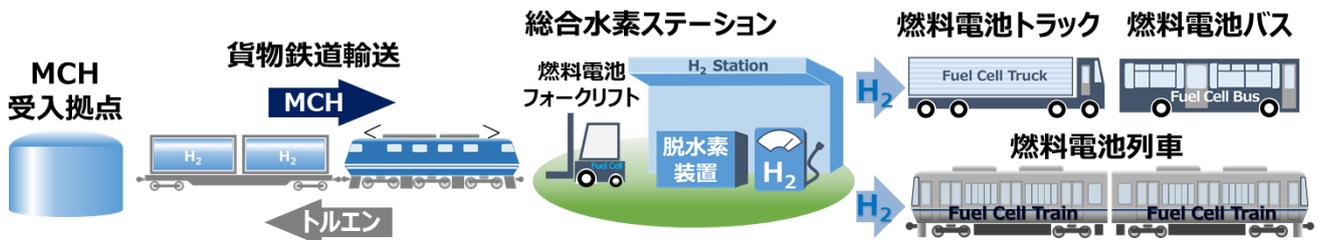
1. 調査概要

倉敷市水島から津山市にわたる岡山地区において、水素キャリアとしてのMCH、脱水素後のトルエンの貨物鉄道による輸送に関する調査、複数種の交通機関等に供給する総合水素ステーションの設置・運営に関する調査、水素輸送・供給までの事業モデルの実現性および事業性の評価を行います。

貨物鉄道による輸送に関する調査をJR貨物、総合水素ステーションの設置・運営に関する調査をJR西日本が行い、水島製油所において水素の受入・貯蔵・供給に向けた検討を行っているENEOS株式会社と連携して、事業モデルの構築を目指します。

本計画の実現により、鉄道アセットを活用した水素利活用の拡大による地域の経済・産業の持続的発展や、水素輸送による地域外への水素利活用の展開に寄与できると考えており、引き続き地域の自治体や企業の皆さまとの連携を図りながら、水素社会の実現に貢献してまいります。

2. 水素輸送・供給・利活用のイメージ



今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、11番、13番および17番に貢献するものと考えています。

